

2025-26 Weekly Bulletin **Tanabe Hamayu Rotary Club****クラブテーマ**

人は人のために
生きてこそ人

2025-26 年度 RI 会長
フランチェスコ・アレツコ

第 2640 地区ガバナー
北野治義

会長：山本康夫 幹事：大田忠博 会報委員長：光吉直也
事務所：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社社会館内
田辺はまゆうロータリークラブ TEL0739-26-6181
例会場：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社社会館 TEL0739-22-0155

創立年月日：1992 年 1 月 21 日 例会日：毎週火曜日 18:30～

URL：<http://www.aikis.or.jp/~t-hamayu/> E-mail：t-hamayu@vm.aikis.or.jp



高松南 RC とのロータリー友好クラブ協定書

会長挨拶

山本康夫

【老害進行度チェックテスト】

- ① 人の話を聞くより自分の話をする方が多いと感じることがある。
- ② 自分の成功体験を年下に押しつけがちになる。
- ③ AI やデジタルツールなど最新の技術を使うことに抵抗がある。
- ④ 新しい音楽や映画を楽しむことが少なくなっている。
- ⑤ 最新のニュースやトレンドに関心を持たなくなってきた。
- ⑥ 自分と違う意見を言う人に対してついイラッとし反発しそうになる。
- ⑦ 人にものを伝える時口調がきつくなったりすることがよくある。
- ⑧ 年下と会話してジェネレーションギャップを強く感じるがある。
- ⑨ 自分の外見への関心が薄れ服装や美容ケアなどの支出が減っている。
- ⑩ 新しいことを始めようとするのがおっくうに感じる

**本日のロータリーソング**

君が代
四つのテスト

**Today's Meeting**

2026 年 4 月 7 日 (火)

田辺はまゆうロータリークラブメンバー
職業紹介

Next Week's Meeting

2026 年 4 月 18 日 (土)

(4 月 14 日から日程変更)
友好クラブ高松南ロータリークラブ
との合同例会

出席報告

(第 1539 回)

会員数	出席免除	欠席者	出席率
27 名	2 名	11 名	56%

幹事報告**例会変更**

○和歌山南 RC 4/24 (金) → 4/26 (日) 17:30～
ダイワロイネットホテル和歌山「創立 65 周年記念例会」

○有田 RC 4/23 (木) → さくらんぼ園

4/30 (木) → 休会

配布

○週報 1539 ○理事会議事録

○ロータリーの友 4 月号

回覧

○田辺東 RC 週報

○第 19 回田辺・弁慶映画祭 公式記録

○2026-2027 年度のための CLLS の表記についてのお詫びと訂正

委員長報告

◎会長エレクト 杉山竜二

4月12日(日)に和歌山大学にて「クラブリーダーシップラーニングセミナー(CLLS)」が開催されます。参加される方はよろしくお願いします。

◎改訂委員会 副委員長 山本佳弘

改訂 Zoom 会員

正会員は zoom 会員の適用を、書面をもってクラブ会長・幹事に申請し、理事会が認証した場合 zoom 会員とする。

zoom 会員から正会員の適用を、書面をもってクラブ会長・幹事に申請し、理事会が認証した場合正会員とする。

zoom 会員会費は半期 50,000 円とし若年層会員の適用はしない。

なお食事代軽減の為例会出席時は食事代(実費)を負担する。

Zoom 会員は年四回以上の例会、奉仕活動、例会に準ずる会合(親睦会等)に出席する。

会員誕生日、結婚記念日、配偶者誕生日等のお祝いは無しとする、但し会員からの希望があればこの限りではない。

改訂 名誉会員規定

定款第8条会員身分、第6節名誉会員による存続期間の設定2年以上クラブ例会または例会に準ずる会合(親睦会等)に出席または財団・米山寄付の無い時は名誉会員資格を失う。

改訂 事務局の勤務日程

毎週 月・水・木 午前9時から午後4時

(内4時間程度)

毎週火曜日(例会日) 午前9時から午後8時

(内6時間程度)

毎週金曜日 午前9時から午前12時

新設 休会規定

会員から申請があり理事会が認証すれば2年限り休会できる。

仕事の都合、病気等身体的な理由があれば理事会に書面で申請する。

RI登録を外し会員名簿登録とするクラブの活動には参加できるが対外的には活動できない。

※年度内であれば申請で終わるが年度を過ぎると諸経費を負担する。(前期、後期含む)

新設 幹事不在時の規定

幹事不在の時は副幹事、幹事・副幹事共不在時は次年度幹事

次年度幹事が副幹事の時は理事役員の年長者が代行する。

新設 理事プログラム委員長

細則第2条 理事会 本クラブの管理主体は、理事会とする。理事会は、少なくとも、会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計で構成されその他の理事を含めることができる、に基づきプログラム委員長を理事に参入する。

プログラム

「高松南 RC との友好クラブ締結から

現在に至るまで」

2013-2014 年度幹事：山本佳弘君



高松南 RC とのご縁は

2013年(平成25年)7月末に届き、8月6日の例会での回覧物が友好クラブ締結につながるとは思ひもありませんでした。

9月18日高松南 RC メークアップ(この当時週報はメークアップ)

会長 菊池正紀、幹事 山本佳弘、新世代委員長 小倉孝章、出席委員長 松本博子、会計 有本祐子、出席委員 裏橋真琴、の6人で高松南 RC へ、翌日神戸 RC にメークアップ、の旅行気分での旅で終わるはずでした。



2013年9月18日高松南 RC へ田辺はまゆう RC より6名メークアップ

«2013年10月1日例会会長挨拶より»

9月18日、高松南クラブにメークアップさせていただきました。礼状、今週の週報出来次第送ります。

「9月18日貴クラブにメークアップさせていただき本当にありがとうございました。例会では皆様の心のこもった歓迎、自分たちと会員様の記念写真まで撮って頂きました。」

例会終了後、マスウド・ソバハに会長そしてパストガバナー太田様に一緒にさせていただき、会長宅にて会長奥様、息子様にホスピタリティ溢れる接待していただきました。

四国八十八ヶ所めぐりの巡礼者・外来者を受け入れ病気があれば手厚く看護し、死亡する者があれば手厚く葬ったという本を読んだことを思い出し、四国高松の皆さんの他者に優しく浮き絵入れる気質を感じいました。

6時からハモづくし「すえひろ」での歓迎食事も、ハモ絶品でした。「すえひろ」での3時間。歓談ロータリー談義、パストガバナーのイタリア語の歌、最後に皆で手に手を歌い、ロータリアンの一員であることに感謝いたしました。素晴らしい思い出になりました。一緒にいったメンバーも同じ思いを共有しています。

高松南ロータリークラブ会長・幹事・パストガバナー・そして会員皆様心のこもった笑顔・もてなしありがとうございました。胸がつまる程の素敵な出会い。高松南ロータリークラブ皆様の御陰様です。またお会いできることを楽しみにしています。」

幹事 山本佳弘・理事 松本博子・理事 小倉孝章・会計 有本祐子・裏橋真琴を代表して会長菊池正紀、と御礼状で終わるはずでした。



「すえひろ」での懇親会

「ある日突然の菊池会長からの相談」

幹事、高松南ロータリークラブと友好クラブ締結できないかと相談があり、一計をはかり高松南ロータリークラブ、パストガバナー太田様に卓話に来ていただきました。



11月26日招聘卓話 PG 太田 英章様
令夫人太田 洋（けい）様

「2014年2月25日チャーターナイト」

新会員歓迎会を兼ねてみなペロイアルホテルにてチャーターナイト開催に高松南ロータリークラブよりマスウド・ソバハに会長、今城広治幹事、篠田日出海職業奉仕委員長の御三方が締結式の打ち合わせも兼ねて訪問して頂きました。

「2014年3月16日友好クラブ締結式」

マスウド・ソバハに邸にて瀬戸内海の眺望を眼下に厳かに調印式をしました。

田辺はまゆうロータリークラブから菊池会長、矢田副会長、三谷エレクト、菅根職業分類委員長、私の5名で参加して来ました。週報では4名となっていました写真に菅根さん写っていました。

原田武俊さんの梅の苗木も四国一番の植木屋に植えてもらっていました。鋤入れの写真も。

子羊の丸焼きは朝から弱火で焼いていたようです。記憶が定かではないですが、トルコ大使館の息子さんとか言っていたように思います。



「いまだに締結の理由を知らない私」

マスウド・ソバハに会長とメイクアップ以降、電話で話をしていると聞きソバハに会長に聞いてみたら、と菊池会長に返事し太田 PG に来て頂いたのが締結の大きな一歩と考えています。なぜ友好クラブ締結かの理由は私も知らないままに進みました。聞いたかもしれませんが記憶に残っていません。

「私が高松南ロータリークラブに行く理由」

締結前に近隣クラブの友人に言われた言葉が「友好クラブ作るのは簡単ですが継続するのが大変」との助言もあり、幹事としての責任で3年間は継続できるようにが目標でした。

自己研鑽、メーキャップが間違いでメイクアップだと太田 PG に教えて頂いたこと。高松南ロータリークラブでは外卓とは言わず客話と菊池年度では締結以降、黒板に外卓ではなく客話表記しましたが単年度で終わりました、次年度の為のクラブ協議会も質疑応答を交え歴史を感じます。

他クラブにメイクアップ行くと勉強不足を感じますし気づき多いです。それが自クラブでも出来るかは別問題ですが。

友好クラブ締結も太田 P G の後押しも大きかったと後で教えて頂き、太田 P G に応えるために訪問が増えました。訪問時に太田 P G からお前は家族みたいなものじゃとよく声をかけて頂いたのが思い出です。

高松南ロータリークラブに行くのは、今では楽しく一日会で遊んでもらい例会では勉強させていただき夜の街も楽しみの一つでもあります、楽しくなければロータリーではないを実践したいと思います。

「高松南 RC との縁 (えにし) の不思議を振り返って」 2013-2014 年度会長菊池正紀君

1. はじまり：一通の案内から



皆様、こんばんは。本日は高松南ロータリークラブとの友好クラブ締結の話をさせていただきます。13年前の2013年、高松南ロータリークラブから一通のメールが届きました。「瀬戸内海国立公園の節目に、高松へ遊びに来ませんか」という、すべての始まりでした。

その呼びかけに真っ先に応えたのが、田辺はまゆうロータリークラブだったそうです。わざわざ和歌山から総勢6名で例会に駆けつけたその熱意に、高松南ロータリークラブは圧倒されとおっしゃっていました。

2. 高松でのご挨拶：「重々無尽」

例会で私は「重々無尽」という言葉を添えてご挨拶をさせていただきました。「自分という存在は、周りの方々の光が映り込むことで生かされている。鏡と鏡が向き合うように、縁は無限に繋がっている」といった内容です。自分と相手が鏡のように映し合い、無限に光が連鎖していく。そんな目に見えない縁の不思議さを語った私達を、ソバハに会長をはじめとする5名の皆様は、その夜、さらに温かい「形」でもてなしてくださいました。

それが、今でも忘れられない「はも懐石」の夕べです。そこでいただいた「はも懐石」の味は今でも忘れられません。瀬戸内の旬の味覚はもちろんですが、それ以上に、初対面の私たちを家族のように迎えてくださった、高松南皆様の静かなお心遣いが何よりのご馳走でした。酒を酌み交わしながら、ソバハに会長が何度も口にされていた「お陰様です」と

いう言葉。その一言に、彼の歩んでこられた道のりと、周りへの深い感謝がすべて凝縮されているようで、胸が熱くなったのを覚えています。

イランから来日され、この地で事業を営み、ロータリーの会長まで務められた彼にとって、「自分一人で成し遂げたことなど何一つない」という謙虚さが、あの「お陰様です」という一言に凝縮されていました。

ソバハに会長が「お陰様です」と微笑みながら、自らお酒を勧めてくださる。箸を進めるごとに、昼間の緊張は消え、私たちはまるで古くからの親友のように語り合いました。

3. 結び：紡いだ縁を、次の世代へ

たまたま巡り合った縁が、皆様のおかげでここまで育った。こうして始まった交流が、急遽「友好クラブ」という形になり、5年、10年と、続いてきました。私が何かを成し遂げたわけではありません。高松の皆様が投げかけてくださった光が、私の中に映り、それがまたクラブの皆様へと伝わっていった。まさに「お陰様」で紡がれた12年でした。

この紡いできた縁を、私は一つの「種子（たね）」のようなものだと考えています。派手な花を咲かせる必要はありません。ただ、この静かな繋がりが、次の世代の会員たちの心にも、そっと受け継がれていけば幸いです。あの時のものの味や、ソバハに会長の優しい笑顔。そんな小さな思い出を種子として、また新しい縁がどこかで芽吹いてくれることを願っています。



ニコニコ箱

山本康夫 高松南 RC との関係について詳しくお話よろしくをお願いします。

大田忠博 菊池正紀君、山本佳弘君、本日は内卓よろしくお願ひいたします。

菊池正紀 よろしくお願ひします。

菅根 清 本日検査3件、昨日検査2件、予定では本日で終わりです。明日はエイプリルフル。ウソについて過ごしましょう。

加藤喜則 明日から、田辺市消防本部では、映像通報システム「ライブ119」が導入されます。救命や災害現場において必要に応じてスマートフォンから119番で動画による通話が可能となります。いざという時にご協力下さいませ。本日もよろしくお願いします。

中峰千世子 本日は菊池様、山本様よろしくお願いします。

杉山竜二 原田 寛 (同文)